

栗原市地震防災マップ

揺れやすさマップ 鶯沢地区

想定する4つの地震のうち最大の震度の場合

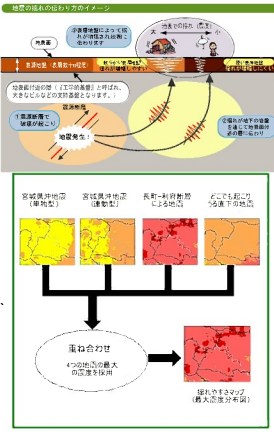


○この揺れやすさマップは、地域に影響のある海溝型の地震(宮城県沖地震(単独型)(運動型)、活断層の地震(長町一利府断層による地震)、どこでも起こりうる直下の地震(マグニチュード 6.9)について、それぞれ震度分布を作成し、100メートルメッシュ毎にその最大となる震度を表現しています。
 ○このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、住民の皆様方の防災活動に役立てていただくためのものです。全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。

■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

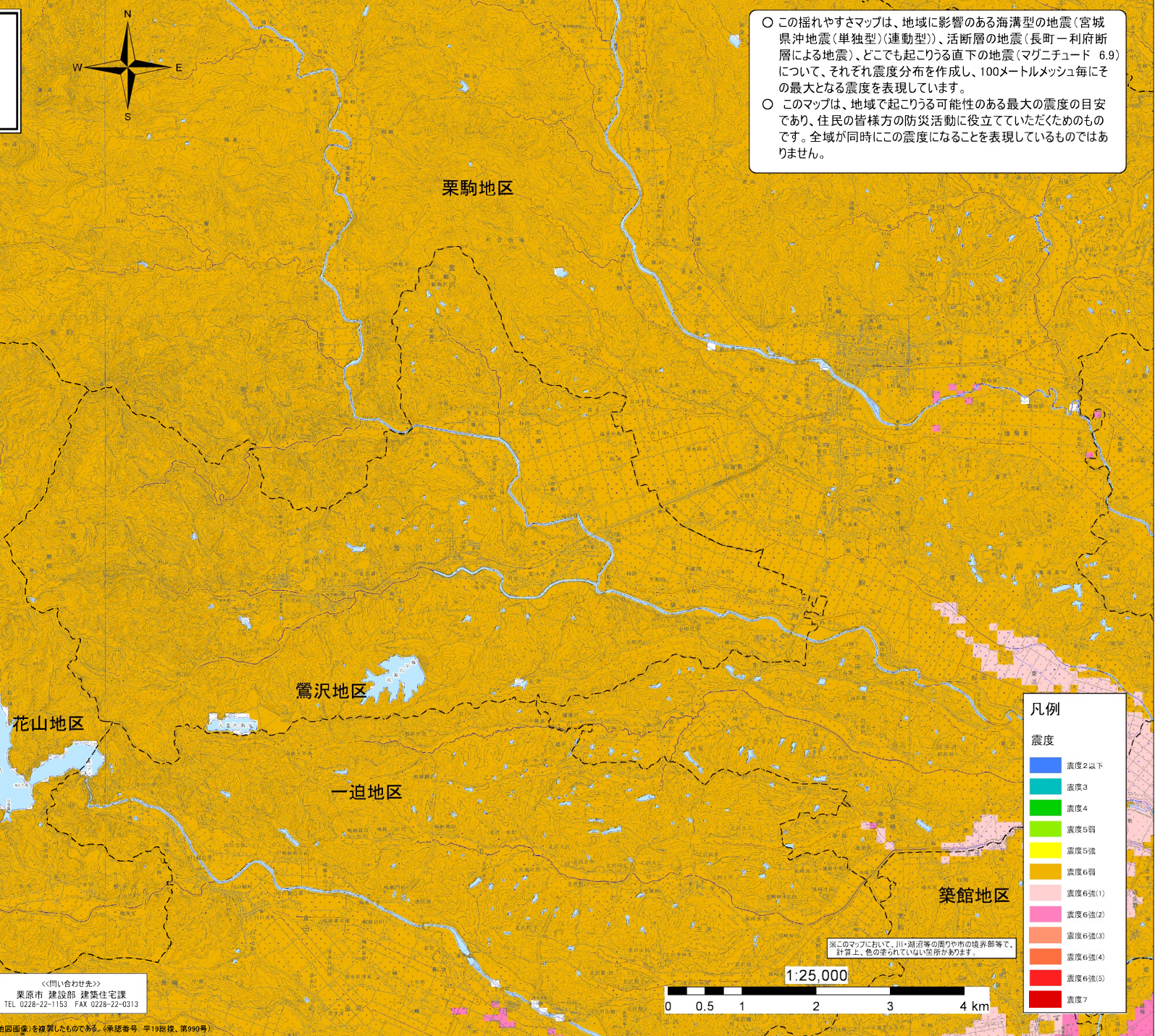
○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長町一利府断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単独型、運動型)、どこでも起こりうる直下の地震)を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。
 ○それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さや変化する性質を用いて、「地表面付近(地下の基盤)での揺れの大きさ」を計算します。
 ○それに加えて地表面での揺れの大きさ(震度)は、「地表面付近での揺れの大きさ」に「足元(表層の地盤)揺れやすさ」を加味することで求めることができます。同時に、足元の地盤が軟らかいほど、また軟らかいものが厚く堆積しているところほど、地表面では大きな揺れとなる性質がありますので、「震度」が大きくなります。
 ○このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表面での震度を詳細に求め、表示しています。



■震度の大きさは震度とはなにか?

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。従来は震度の階級が7までの階級でしたが、平成元年10月からは震度6とをそれぞれ6強・6弱、5強・5弱に分けて10階級に改訂されました。また、気象庁が発する震度は、気象庁の職員が体感した揺れの強さや周囲の被害状況などを観測して決められていたため、震度5と震度6の境界線が不明瞭なところがあり、この震度計の計測値(計測震度)と異なりました。もとに計算して震度を定めるようになっています。

震度階級	人感	屋内の状況	屋外の状況	木造建築物
0	ほとんど感ぜず。			
1	揺れが感ぜられる。			
2	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。			
3	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。			
4	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
5弱	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
5強	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
6弱	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
6強(1)	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
6強(2)	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
6強(3)	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
6強(4)	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
6強(5)	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			
7	揺れが感ぜられる。机や棚が揺れる。歩行者が揺れる。歩行者が揺れる。			



〈問い合わせ先〉
 栗原市 建設部 建築住宅課
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313

※この地図は、国土地理院長の承認を受けて、同院発行の政経地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号:平19総検、第990号)